

ふるたかまつ通信

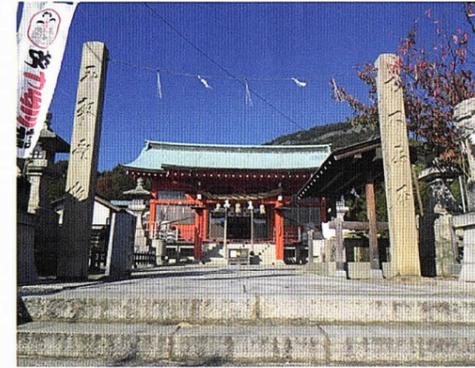
【コミねっと高松】<http://www.takamatsu.genki365.net/>にて情報を公開しています

秋祭りとは、その年の豊作を氏神様に報告する行事。稲藁のこげる香りと、金木犀の甘い香りが漂う群青の秋晴れの空に秋の正月を祝う「おめでとうございます」の音が響きます。

“今年豊年 穂に穂が咲いて 道の小草も 米がなる”



各神社にて秋祭り開催!!



大宮八幡宮(屋島中町)



久米石清水八幡宮(東山崎町)



春日神社(春日町)

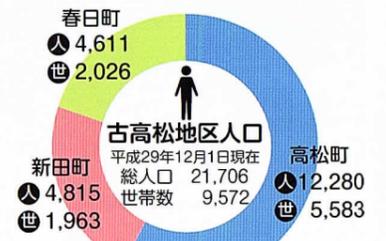
トピックス① 古高松の秋祭り開催!! 2P

トピックス② 古高松音頭の踊りできました!! 3P

特集「古高松のあれこれ」パート③ 4~5P

豆記者通信 6~7P

古高松豆知識・お知らせ 8P

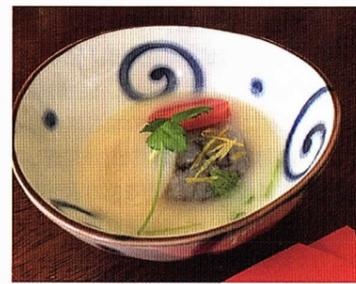


古高松豆知識 ②



★古高松のレシピ

あん餅雑煮



日本全国に数ある雑煮の中で、あん餅を入れるのは讃岐にしかない独特の文化です。甘いあん餅を、甘い白味噌でいただくあん餅雑煮は、まさに和製スイーツといえましょう。

つくりかた

- (1) いりこを強火で沸騰させて、さらに弱火で15分ほど煮出し、ザルでこす。
- (2) 大根、人参を輪切りにする。豆腐は3×1cmに切る。
- (3) 鍋に(1)と(2)を入れて煮る。
- (4) 野菜が煮えたら餅を入れる。
- (5) 餅が軟らかくなると白味噌を入れる。
- (6) 豆腐を入れて一煮立ちさせる。
- (7) お椀に盛り、青のりをふりかける。

- 材料(5人前)
- 丸あん餅: 5個
 - 金時人参: 1/2本
 - 大根: 100g
 - 木綿豆腐: 1/2丁
 - 白味噌: 100g
 - 青のり: 適量
 - いりこ: 30g
 - 水: 800cc

★自治会の由来



「新開」

しんがい

(東新開・西新開)

「新開」は新しく開墾されたという意味。春日町新開、昔この付近は海でした。『翁媪夜話』の中に「寛永14(1637)年、堤を築いて海水を支え田となす」との記録があります。また、寛文7(1667)年には松平頼重の命で「松島から西湯元に至る東西十八町に堤防が作られ稲田とした」事も知られています。「新開」は江戸時代初期に開拓された土地である事がわかります。

お知らせ



- ・優良民生委員児童委員協議会表彰 高松市古高松地区民生委員児童委員協議会
- ・香川県共同募金会会長表彰 長町隆司 加藤豊 小河雄磨 植村芳弘 向井毅 塚原久 宇野昌邦
- ・高松市共同募金委員会会長表彰 山田綱行
- ・高松市共同募金委員会会長感謝状 佐々木茂 青山一高 谷本義隆 吉田俊幸
- ・第23回高松市民スポーツフェスティバルグラウンド・ゴルフプレー 準優勝(団体戦6名) 古高松校区
- ・第23回高松市民スポーツフェスティバルソフトボール競技スローピッチの部 優勝 古高松
- ・高松市幼少年婦人防火委員会団体表彰 高松町女性防火クラブ
- ・高松市女性防火クラブ連絡協議会個人表彰 森内美恵子
- ・第51回香川県交通安全県民大会交通安全功労賞 森田光男

プレゼントクイズ

平成29年10月29日開催される予定だった古高松地区最大のイベントとは?

「第20回〇高松城まつり」

【応募方法】※ご記入いただいた個人情報は、当選の連絡以外の目的では使用しません。必要事項①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤広報誌「ふるたかまつ通信」の感想をご記入のうえ、各コミュニティセンターへ持参、FAX、Eメールにてご応募ください。締め切り:2月28日(水) ※当選者の発表はプレゼントの発送(3月末頃)をもってかえさせていただきます。

《地域の情報お寄せください!》

広報誌に掲載する情報を募集しております。古高松のあんなことやこんなこと、ご意見・ご要望など何でも構いません。古高松・古高松南コミュニティセンターまでお気軽にどうぞ~

《問い合わせ先》※クイズの応募もこちらへ

- 古高松コミュニティセンター 高松町10-20 ・Tel&Fax 087-841-6262
・Eメール: furutakamatucc@md.pikara.ne.jp
- 古高松南コミュニティセンター 春日町782-2 ・Tel&Fax 087-841-2186
・Eメール: furutakamatumi-c@md.pikara.ne.jp

HAKUJUJI
SINCE 1957 REFINED CAKE CREATES CULTURAL LIFE
所在地/高松市新田町甲707-1
TEL/087-843-3181

HAKUJUJI様より提供!
応募いただいた方の中から抽選で10名の方に**HAKUJUJI商品券(1000円分)**をプレゼントします。

高松市役所出張所のご案内

古高松コミュニティセンター内には、高松市役所出張所の「古高松出張所」が併設されています。各種行政手続きなど、市民の方の身近な窓口としてご利用いただけます。業務の内容など、詳しくは出張所まで直接お問い合わせください。

高松市役所古高松出張所 Tel&Fax 087-841-6261

編集部としても「第20回旧高松城まつり」を大々的に取り上げようとして準備していたのですが、まつりが中止となり、紙面も大幅な変更を余儀なくされました。編集部一同、紙面の変更にも東奔西走し、無事発行に辿り着くことができました。(編集員一同)

トピックス①

古高松の秋祭り開催!!



古高松地区では、毎年大宮八幡宮(屋島中町)・久米石清水八幡宮(東山崎町)・春日神社(春日町)にて秋祭りが開催されます。それぞれの神社に奉納される太鼓台・ちょうさ(人が乗ることができる太鼓台)・神輿・獅子を紹介しましょう。



大宮八幡宮秋季大祭(屋島中町147)

平成29年10月14日・15日



久米石清水八幡宮秋季大祭(東山崎町1098)

平成29年10月14日・15日



※雨天の為、上記以外は昨年の写真です。

春日神社秋季大祭(春日町736)

平成29年10月7日・8日

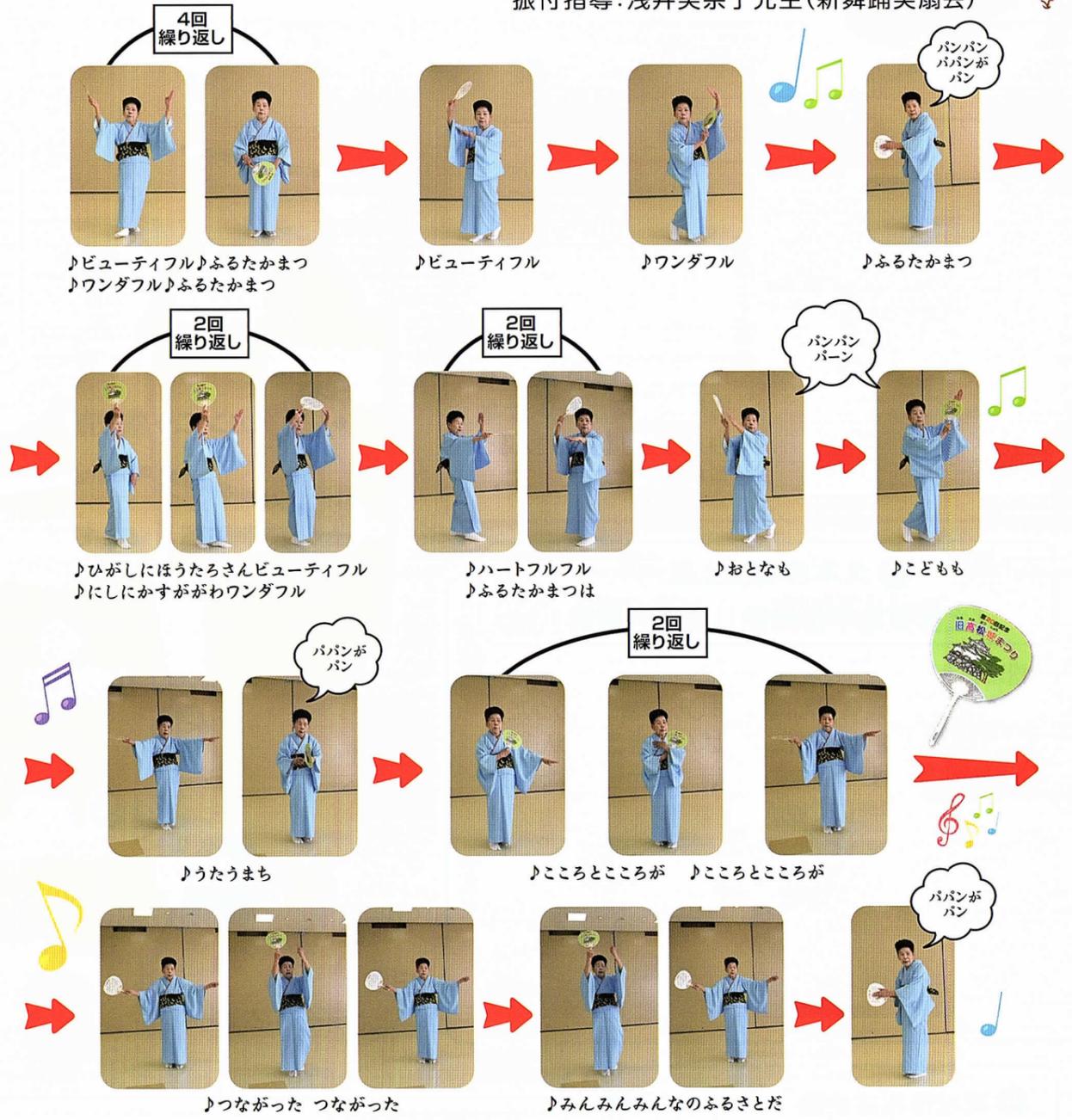


トピックス②

古高松音頭の踊りできました!!



振付指導: 浅井美奈子先生(新舞踊美扇会)



旧高松城まつりの開催に向けて、古高松・古高松南コミュニティセンターにて「古高松音頭」の踊り練習会が開催されました。ホールには、老若男女あふれんばかりの参加者が集い、楽しい時間を過ごしました。これからも、この踊りを末長く伝えていきたいと思っておりますので、皆様ぜひ覚えて下さいね。



平成29年10月29日(日)に開催を予定しておりました「第20回記念旧高松城まつり」は、台風22号の接近にともない、参加者の安全を考慮した結果、止むなく中止とさせていただきますこととなりました。楽しみにされていた皆様には、多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

「古高松のあれこれ」パート③

古墳時代と、新田開拓の名残り「新田町」

古高松地区には50基を超える古墳があったとされていますが、内12カ所が現存しています。古高松一帯が古い時代より賑わっていた土地であった事が分かります。

① やしきあと カンニヤ屋敷跡



江戸時代に百石新田を開拓した豪農である勘右衛門の屋敷があったと伝えられています。畦に石造りの小祠があり、土地の人たちは【船戸さん】と呼んでいます。

④ 久本古墳出土品

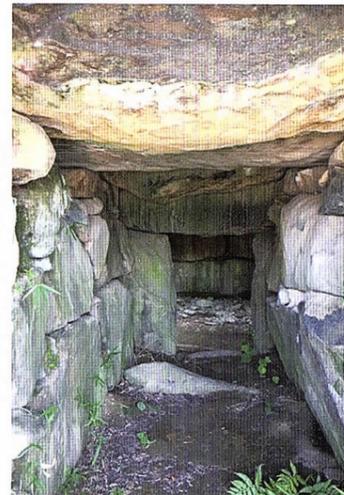
「土師質亀甲形陶棺」はしじつきこうがたとうかん 「承盤付銅鏡」しょうばんつきどうわん

高松市教育委員会が昭和50年代に行った久本古墳の発掘調査で、「土師質亀甲形陶棺（はしじつきこうがたとうかん）」や「承盤付銅鏡（しょうばんつきどうわん）」など、歴史的にも重要な多数の副葬品が出土しました。（高松市歴史資料館にて展示中）



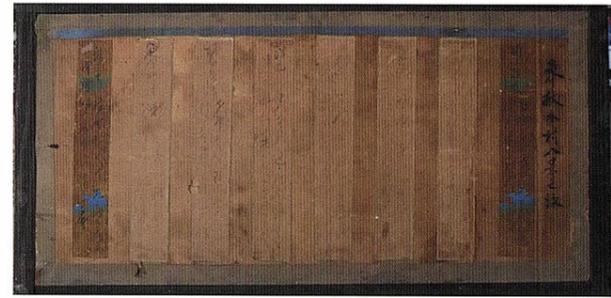
⑤ 高松市指定史跡 久本古墳(円墳)

石室の保存状態が良好で、巨石を組み合わせた巨大な横穴式石室があります。まさに「古高松の石舞台古墳」と言えましょう。昭和49・50年の発掘調査により見つかった出土品は、現在高松市歴史資料館で見ることができます。



② しちめんたいみょうしん・しんでんはつがい 七面大明神・新田八景

新田町小山の七面大明神に奉掲されている額に8首の歌が詠まれています。それぞれの風景は、現代の新田地区の風景とは異なりますが、歌から当時の新田町の風景が偲べれます。

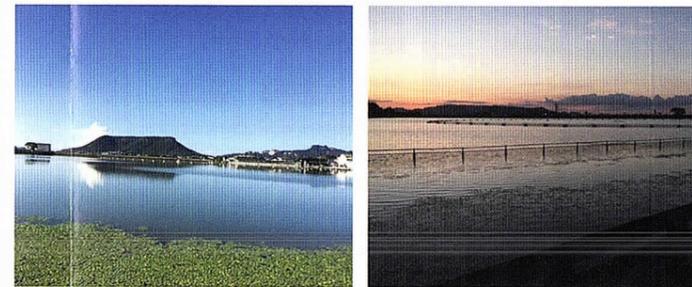


③ やましたごふん 山下古墳(円墳)



玄室（古墳の内部にあって、棺を納める室）の広さは古高松地区第一。玄室の天井は大きな一枚岩で作られています。山下古墳の東側の山「岡山」には小さいながらも前方後円墳と多数の円墳が現存します。

⑥ くめいけ 久米池



貯水量352千tの水を湛え、新田町109haの水田を潤す古高松地区最大のため池。久米池が造られた当時の明確な記録はありませんが、石碑に「西嶋八兵衛」「徳萬小左衛門」という標記があるので17世紀中頃又はそれ以前に造られたものと推察できます。1686年の記録には、古高松地区にある21のため池の筆頭として記されています。その後何度も改修、嵩増が繰り返され、近年では昭和45年、平成16年の大改修を経て、現在の姿となっています。

⑦ たかまつしちゃうすやまごふん 香川県指定史跡 高松市茶臼山古墳(前方後円墳)



茶臼山の山頂の地形を利用して築造された前方後円墳。昭和44年の調査により、大刀・神獸鏡などたくさん出土品が見つかり、古墳時代前期の古墳であることも分かりました。

●次回は春日町を特集します。春日町の史跡や文化財等の情報がありましたらコミュニティセンターまでお知らせください。



豆記者通信 ①

今年、古高松中学校は、総合体育大会でめざましい活躍をしました。軟式野球部、サッカー部、ソフトテニス部は地区大会で優勝し、吹奏楽部は四国大会に出場しました。各部活動のキャプテンにインタビューしました。

『軟式野球部』3年生全員がベンチに入って、チーム全員で優勝できて良かったです。野球以外のことも一生懸命にしていれば結果はついてきます。

『ソフトテニス部』練習が大変な時も、表情やプレーに出さず、仲間を信じる必要があると思います。

『サッカー部』先生をはじめ、保護者の方々や後輩たちが応援してくれたことが力になりました。

『吹奏楽部』大変なこともありましたが、このメンバーで最後まで頑張ることができて良かったです。応援してくれた皆さんのおかげだと感謝しています。



3年 芝 友沙

私たちの通っている古高松中学校では、ボランティア活動がとても盛んです。具体的に二つの活動を紹介します。

一つ目は、あいさつ運動です。毎朝校門の前で野球部や委員会を中心にしています。また、月に一度、古高松小学校・古高松南小学校に行き、小学生ともあいさつ運動を行っています。あいさつをすることで地域全体が明るくなってきていると思います。

二つ目は、清掃活動です。年に二回、地域の方々と協力して校区内のゴミを拾っています。また、公園や水路の清掃も行っています。この活動により、普段はあまり接することの無い方々と交流することができます。

このように、古高松地区は元気で明るい、とてもいいところだと思います。



3年 西川 翔大

古高松小学校の吹奏楽部は、コンクールの他、地域の様々な行事の中でも演奏させていただいています。

毎年敬老会では、私たちを温かく見守ってくださっている地域の方々に向けて、感謝の思いをこめて演奏しています。今年(9月18日)も、敬老会で演奏させていただき、皆さんが、私たちの演奏で笑顔になってくださり、本当にうれしかったです。司会の方が「演奏のおかげで、私たちも元気になりましたね。」と言ってくれた時は、達成感に包まれました。

まだまだ未熟な私たちですが、演奏で元気一杯笑顔になってくれる人たちがいるのだと実感できました。



6年 中村 瑞穂



古高松小学校

夏休み、私たちの合唱部はNHKの合唱コンクールに向けて練習し、8月9日の本番で精一杯歌いました。

私は3年生の時ずっと合唱部です。4年生の時、先生が変わって少しとまどうこともありましたが、コンクールに出られたのは先生のおかげだと思います。でもコンクールに出ても毎年最下位。今年こそは!と思いました。そして夏休みの練習の時期になりました。あつというまに日は過ぎて、本番当日です。みんなきん張っていたけど、なんとか歌うことが出来ました。

結果は銅賞だったけれど、昨年や一昨年よりも一段と楽しかったです。来年も後はいにがんばってほしいと思います。



6年 寺竹 遥陽

私は陸上記録会に向けて練習をがんばりました。朝と放課後練習しました。毎日頑張りました。

私は、学年で五番目に足が速いのでリレーには出られないかなと不安になっていたとき、友だちが「頑張って」と声をかけてくれたので、タイムを計るときは精一杯走りました。結果は四位でリレーの選手になれました。友だちがはげましてくれたので頑張ることができました。

当日は、リレーもハードルも、練習してきた自分の力を発揮することができました。この陸上練習を通して、友だちと協力することの大切さを改めて実感しました。卒業まで後少し、陸上練習の時の思いを大切に何事にも精一杯がんばりたいです。



6年 古田 莉沙

6年生は、地域のために何が出来るかを考えて、地域清掃を行っています。落ち葉拾いや草抜き、みぞ掃除など手分けして行いました。地域をきれいにすると、気持ちもすがすがしくなります。

僕は、自治会の清掃活動にも参加しました。僕が落ち葉を集めていると、近所のおじさんが「すこいね。がんばっているね。」と声をかけてくれました。



地域の人とコミュニケーションをとれる地域清掃は、大切な活動だと思い、これからも続けていきたいと思っています。

6年 鷺川 敬正



古高松中学校

古高松中学校、古高松小学校、古高松南小学校の子どもたちによる「豆記者通信」の企画がスタートしました。地域を担う若者たちの視点で見た古高松地区の素晴らしさに、たくさんの発見をさせられました。

私たちの住む古高松地区を流れる新川は、高松を南から北に流れ、河口では春日川と合流して瀬戸内海に流れ込みます。県の管理河川である二級河川です。

幅の広い穏やかな流れの川で、四季折々の風景を見せてくれます。

地区の人たちによる川周辺のゴミ拾いが、年に何度かあり、きれいな川が保たれています。地域のみならず新川を愛し、共に生きていけるように、きれいな新川を守っていくことが私たちの義務です。

河口(春日町・屋島西町付近)では、干潮時に広い干潟が出現し、四季を通じて県下有数のバードウォッチングポイントです。みなさんも、鳥を探しにバードウォッチングを楽しんでみませんか。



2年 溝淵 水月

私の住んでいる高松町には、喜岡寺というお寺があります。

その境内は、昔高松城の本丸でした。戦国時代、高松は讃岐の中心地でした。喜岡城は1335年に建武の新政で功を上げた高松頼重が築城しましたが、同年に足利尊氏の臣下によって落城しました。その後、1587年に讃岐の国に赴任した生駒親正が、現在の玉藻城を築城し、現在に至るまでこの城を高松城としました。この時、喜岡寺周辺では地名として「高松」が定着していましたが、新たな高松は玉藻城とその城下町を指すよう変更されたため、元祖高松の地域は「古高松」と改名され現在でも周辺の地区名として使用されています。



喜岡寺の近くにある永の谷公園には、高松城の本丸があったことが分かる石碑があります。

2年 北野 稜華

ぼくたちの古高松南小学校には、シンボルキャラクターがいます。名前を「みなみん」といいます。「みなみん」は体が米で両方の手にアルミ缶と久米池に生息する希少植物の「アサザ」をもっています。体が米の理由は、古高松南小学校の5年生が毎年米づくりをしているからです。そのできた米は、お世話になった地域の人にもちにして配っています。アルミ缶は、毎月回収して、その集まったアルミ缶をお金に替えて近くのせつに車いすをおくっているからです。また、カンボジアの困っている人のために募金活動もしています。このように古高松南小学校のシンボルキャラクター「みなみん」にはいろいろな意味があります。



6年 高木 輝宏



古高松南小学校

僕達の学校では、マイ・ランチをしています。一年間で、何度かマイ・ランチの日を決めています。1年生から6年生まで、全校生がお弁当を作って持っていきます。

お弁当の中身は自由です。でも、栄養のバランスを考えて、作らないといけません。僕もその日は、お弁当を作りました。お母さんが作ってくれる苦労が、よくわかりました。栄養のバランスを考えるのも大変だとわかりました。

僕はこれからも、マイ・ランチを続けていってほしいです。



してみんなが健康な生活を送れるように役立ってほしいです。僕も健康に気をつけて食生活を見直してみたいと思います。

6年 大津 結人

私たちの小学校では、毎年6年生が始業式の日、地域の吉田さんとこいのぼりを上げています。ふつうのこいのぼりのほか、自分たちの夢を書いたこいのぼりや手がたをおしたこいのぼりを上げています。運動会では、30びきくらいのこいのぼりが私たちを見守ってくれています。運動会以外も、元気に遊ぶ私たちを、元気に泳ぐこいのぼりが風にゆれて気持ちよさそうに見守ってくれています。

平成27年には、「南っ子鯉のぼり抑揚式」をしました。自分の夢を大空に羽ばたかせた一しゅんの出来事でした。

これからも元気な私たちを、大空で仲間と泳ぎながら元気がたて見守ってほしいです。六年間わたしたちを見守ってくれてありがとうございます。



6年 吉田 智咲

私が思う古高松南小学校のいい所は、米作りをしているところです。毎年、5年生がもみまきから、いねかりまで、一年間を通してやっています。ほかに、自分たちでかかしをつくって、かかしコンテストなどをしたりしています。そして、自分たちで育てた米で、もちつき大会をしています。米作りも、もちつきもたくさんの方が手伝ってくれています。だから、出来上がったおもちも、お世話になった地域の方やお家の人に配っています。初めてで、分からなかったこともあったけど、たくさんの方が教えてくれたので、とても分かりやすかったです。米づくりは大変だけど、私たちにとっていい経験になっています。



6年 三枝 桜音